

2023年10月6日  
株式会社キャリアメーカー

### 香港科技大学 WBB 研修プログラム概要

コース名：World Bachelor in Business(WBB)コースの Asia Exploration Program  
研修プログラム期間：2023年11月10日 - 2024年2月2日

参加大学；香港科技大学, 伊ミラノのボッコーニ大学、南カリフォルニア大学

コース概要：World Bachelor in Business コースとして、バーチャル研修4回、1月の日本企業視察プログラムの講義及び運営を実施。

<https://wbb.hkust.edu.hk/index.html>

[日本企業視察研修参加前の事前準備セミナー]

- 1回目：11月10日(金) Web セミナー 「日本の就労環境」
- 2回目：11月14日(火) Web セミナー 「日本で仕事する、起業する」
- 3回目：11月17日(金) Web セミナー 「企業様からの課題提供」
- 4回目：11月21日(火) Web セミナー 「日本ビジネス概況 - 業界別、企業別」

[日本企業視察プログラム]

参加学生の大学：香港科技大学, 伊ミラノのボッコーニ大学、南カリフォルニア大学のいずれもビジネススクール専攻の学生

日本企業視察研修への参加メンバー：25名程度

日本訪問期間：2024年1月24日- 30日

今回のご相談内容：

1.[企業様別 課題解決プロジェクト]への課題のご提供

プロジェクト期間：1-1.5ヶ月の調査を実施

1回目(Zoomセッション)：課題提供 11月17日(金) 19:00-21:00

2回目(Zoomセッション)：最終成果報告会 2月2日

学生側よりプレゼンテーション。各チーム 20分 x 4-5チーム想定

プロジェクトチーム：三大学メンバー20-25名と日本の大学生 10名程度混成チーム

4-5チームを編成予定

2. [企業視察]

以下の日程の中で、60-90分の御社訪問を希望しております。

期間：2024年1月24日- 30日

以上

(参考情報) 香港科技大学 WBB コース Asia Exploration Program のご案内

[Asia Exploration Programに参加の WBB コース学生の属性]

参加者の大半は、WBB 学部 2 年生。

専攻は、国際ビジネス学科(World Business/International Business)。

WBB は南カリフォルニア大学、香港科学技術大学、ボッコニー大学の三大学が共同で提供する、世界で唯一のトリプル学位プログラム。

WBB への入学倍率、選考基準は非常に高く、世界中から優秀な学生を受け入れている。おり、そのうちの約 1/3 はアメリカ大陸から、1/3 はヨーロッパと中東から、1/3 はアジアから入学している。

[ご参加いただく企業様の最大のメリット]

- 1) **企業ブランド認知度向上と Z 世代への理解浸透**：御社は、グローバルに展開する日本のトップアーティストを擁する音楽事務所兼エンターテインメント企業の一つです。このイベントを通じて、御社は、特にビジネスやテクノロジー分野のトップクラスの大学生、学者、専門家の中で、企業ブランドイメージや認知度を高めることができます。このような企業ブランドイメージ・認知度の理解向上は、御社ブランドへのロイヤルティを高め、将来の協力関係や新たなビジネスチャンスにつながる可能性があります。
- 2) **世界レベルのトップ人材へのアクセス**： WBB の学生および卒業生は、世界的な一流企業から求められ、高い評価を得ております。卒業生の約半数は、ゴールドマン・サックス、モルガン・スタンレー、J.P. モルガン、KKR、ブラックロックなど、金融分野のトップ投資運用会社で働いています。このイベントに参加することで、御社は確かなビジネス基盤とグローバルなマインドを持つ若い才能を惹きつけ、取り込むことができます。御社は、このイベントに参加することで、業界に興味を持つ優秀で意欲的な学生たちと交流する、貴重な機会を得ることができ、将来の新卒・中途社員候補の発掘に繋がります。
- 3) **新鮮な視点と革新的なソリューション**：参加者は多様なバックグラウンドを持つため、新鮮な視点と革新的なアイデアを御社に提供します。学生はしばしば、創造性と既存の常識打破に挑戦する意欲をもって問題解決に取り組みます。これにより、御社は直面する喫緊課題に対するユニークな洞察や潜在的な解決策を得ることができ、御社が業界の最先端を走り続ける可能性を広げます。
- 4) **企業の社会的責任 (CSR)**：このイベントへの参加は、御社の CSR と持続可能性へのコミットメントに繋がり、重要な社会問題や環境問題に対して責任ある企業体としての評判が高まり、CSR を重視する企業を評価するステークホルダーからの評価も高まります。

[日本語レベル]英語が母国語の生徒が殆ど。日本語学習者は希少です。